



シラバス参照

タイトル「**2016年度 経済学部シラバス**」、フォルダ「**2016年度 経済学部シラバス**」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|------------|---|---------------|----|
| 科目名 | 経済政策総論 | | |
| 担当教員 | 藤木 剛康 | | |
| 対象学年 | | クラス | E1 |
| 講義室 | | 開講学期 | 前期 |
| 曜日・時限 | 火1 | 単位区分 | |
| 授業形態 | 講義 | 単位数 | 2 |
| 準備事項 | | | |
| 備考 | 標準履修年次 2年次 | | |
| 科目名 (英語表記) | Economic Policy in Generalities | | |
| 授業の概要・ねらい | <p>経済政策とは、一般に、国民所得の向上、雇用の維持、所得の再配分など、良好な経済を実現するための政策だとされます。その一方で、新聞やニュースなどの報道で得られるイメージは、政治家や政党、様々な利益団体の政治的対立や妥協を通して決まる「下世話」なものではないでしょうか。この講義では、そうした経済政策の理念とイメージとのギャップを埋めるために、経済政策が決まっていく「政策形成過程」や、その舞台となる「制度」に注目しつつ、今日の日本の政治経済の基本知識や経済政策の課題を概説していきます。</p> | | |
| 授業計画 | 回 | 内容 | |
| | 1 | オリエンテーション | |
| | 2 | 数字で見る日本経済① | |
| | 3 | 数字で見る日本経済② | |
| | 4 | 政策形成過程と制度① | |
| | 5 | 政策形成過程と制度② | |
| | 6 | 政策形成過程と制度③ | |
| | 7 | 高度成長期日本の政治経済① | |
| | 8 | 高度成長期日本の政治経済② | |
| | 9 | 日本の政治経済の停滞① | |
| | 10 | 日本の政治経済の停滞② | |
| | 11 | 日本の政治経済の停滞③ | |
| | 12 | 日本経済の国際化 | |
| | 13 | アベノミクスとそのゆくえ① | |
| | 14 | アベノミクスとそのゆくえ② | |
| | 15 | 講義のまとめ | |
| 到達目標 | <p>①日本の政治経済に関する基礎知識を獲得し、政治や経済に関する時事問題に関心を持てるようになること。 ②経済政策関連の専門科目をスムーズに履修できるようにすること。</p> | | |
| 成績評価の方法 | 定期試験の成績によって評価する。 | | |
| 教科書 | なし。 | | |
| 参考書・参考文献 | 高校の「政治経済」の教科書。その他、講義のなかで紹介する。 | | |

| | |
|----------------|---|
| 履修上の注意・メッセージ | 朝一番の講義となります。眠いかもしれませんが、できる限り手や頭、口（ただし、私語は厳禁！）を動かしてもらい、みなさんとのインタラクティブな講義となるようにしたいと思います。 |
| 履修する上で必要な事項 | |
| 受講を推奨する関連科目 | |
| 授業時間外学習についての指示 | ①新聞や雑誌、TVなどの経済ニュースに目を通す習慣をつけてください。TV番組なら、NHK『時論公論』や『クローズアップ現代』、テレビ東京『ワールドビジネスサテライト』などを推奨します。 ②高校時代の「政治経済」の教科書を読み直してください。 |
| その他連絡事項 | |

